



800TCワイヤレスHDMI/ SDIビデオ送信システム

取扱いマニュアル



■ トレードマーク

GHOST=EYE(ゴーストアイ)ワイヤレス送信システムはCINEGEARS INC ウェブインターフェイスのトレードマークです。

■ 条件の声明

内部構造、デザイン、操作性や信頼を高める事が我々の目的である為、私達CINEGEARS INC.はわずかですが、このマニュアルに乗っている商品と実際販売されているものと少し異なることがあります。私達CINEGEARS INC.はこのマニュアル通りの扱い方での不都合の責任は負えません

■ FCCコンプライアンス情報:ラジオ周波数情報

このデバイスはFCC(FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSIONS) 15.247条の条約を満たしました。FCC RF 露出要件を満たすため、ユーザーはアンテナから20センチ離れて使用してください。このデバイスはテストを行い、FCCルールパート15によるクラスBデジタルデバイスのリミット内に起動します。このリミットは市街地や住宅街の扱いの

際、通信妨害や普段の日常の妨害を防ぐ為に考えられた物です。このデバイスは周波数を生成、使用、そして放射しますが、もし説明上では無い扱いをすれば、ラジオ放送に危険な妨害を与えることがあります。ですが、説明上の扱いをしても危険な妨害を与えないという保証はありません。もしこのデバイスによって危険な妨害がラジオやテレビ放送で見られる

場合は、(主にデバイスを付けたり消したりすることで確認できる)ユーザーは妨害を下のとおりに解決する事をおすすめします。

- 再設定、あるいは違う場所での利用
- 妨害を受けている機材をレシーバーの距離を離れさせる
- 機材をレシーバーと別の電線に接続する
- 店で問い合わせる、あるいはTV/ラジオ技師と問い合わせる

■ ユーザーのための情報

この取扱いマニュアル、あるいは説明マニュアルはユーザーがマニュアル上ではない変更、あるいは改造を行なった場合、ユーザーが機材を使う権利を失うことを報告する必要があります。マニュアルが紙以外の状態(コンピューターディスク、あるいはネット上で)で配られる場合、このセクションが必要とする情報はユーザーがいつでもアクセス出来る状態で保存する必要があります。

■ 注意	2
■ Ghost-Eyeワイヤレスビデオ送信システムとは？	3
■ 製品の特徴	4
■ 仕様	5
トランスミッター	7
レシーバー	9
■ 取扱い説明	11
ユニットのセットアップ	11
インターカム <small>の</small> セットアップ	13
送信出力 <small>の</small> セットアップ	13
チャンネル設定	14
冷却ファン <small>の</small> 起動/停止	14
トラブルシューティング	15
■ 免責条項	17
■ CINEGEARSについて	19

注意

⚠ 注意

Ghost-Eyeシリーズを扱う前のこのマニュアルを必ずお読み下さい。誤った扱いは商品を傷つける、あるいは他の電子機器に障害を与える可能性があります。

この商品は、高性能な機械である為、取扱いに気をつける必要があります。誤まった扱いは他の撮影用の道具に障害を与える事もあります。

この商品は子どもが一人で扱うことはお勧めできません。無茶な改造や、マニュアル上以外の扱いはしないでください。

この安全ガイドラインには搭載の方法、扱いかた、後メンテ法が乗っています。このマニュアルを読んで説明を従う事、ゴーストアイシリーズの組み立て方、セットアップと扱い方の注意をお守りください

1・この商品を熱い環境、寒い環境、ホコリの多い場所や、湿っている場所で使用しないで下さい。

2・固い表面に擦らないで下さい。

3・高い場所から落としたり、ケースにきちんと入れないで持ち運ばないで下さい

4・このセットはケース以外防水加工はされていません。なるべく水分をかけず、水分の多いところでの使用は避けてください

5・デバイスの解体、そのあとの組み立てあるいは機械の性能を変換するような事はしないでください

⚡ 電線についての注意

1・このデバイスがパワー源、あるいはバッテリーを他の機材に分けている場合、ちゃんとバッテリー、あるいはケーブルが接続されているかご確認ください。

2・このデバイスは他の電力源、あるいはバッテリーを他の機材に分けている場合、電源がオフの状態になっているかご確認し、電源をつなげる、あるいは外してください。

3・このデバイスがパワー源、あるいはバッテリーを他の機材に分けている場合、コネクターの極性を確認し、中の導体が正の電荷か確認して

ください。もし中の極性がわからない場合は、マニュアルを読み、SDI/HDMIコネクターの外部導体がパワー源の負の電荷に接続してください。もしこれが守られていない場合は、ほかの機材にGHOST-EYEから同じ電力を送ることはできません

Ghost-Eyeワイヤレスビデオ送信システムとは？

私達CINEGEARSでは、一番のワイヤレスHDビデオトランスミッターとレシーバーを用意しております。GHOST-EYEシリーズの開発中、私たちはプロトタイプを撮影スタジオの従業員によってさまざまなテストを行い、クライアントの感想や意見を受け入れ、今後の商品開発のアドバイスとして記録しておきます。なんどもそれを繰り返し、あなたたちクライアントの意見をもとに理想の商品が完成致します。私達の研究の成果は、このマニュアルに乗っているお手頃価格のGHOST-EYEワイヤレスビデオ送信キットとして表しております。

GHOST-EYEワイヤレスビデオ送信キットはどんなワイヤレスHDビデオ送信の問題でも解決いたします。わが社の強力なワイヤレスビデオトランスミッターとレシーバーも大手撮影スタジオのも役に立つこと間違いなし、おまけに軽くコンパクトな作りの為、置く場所や装着する場所にも困らない!GHOST-EYE送信キットは10ビット、4:4:4ビデオを収納、送付可能の上、HDとSD両方にわずか1秒の待ち時間で対応する事が可能です。

t.

製品の特徴

- OFDMチップによって10ビットカラー、YCbCr、4:2:2色深度、独自のカラーマッチングアルゴリズムを送信可能。
- 非圧縮された10ビット4:2:2 2GBps ビデオストリーム、あるいは他のモデルのように12ビット4:4:4 3GBpsワイヤレスビデオ送信を最適化
- スクリーン内での動きに応じ、ビデオプロセッサを最適化
- 全てのオーディオフォーマットにも完全に対応
- 安定したチャンネル選択。チャンネル番号と周波数はソフトウェアによって他のデバイスからの妨害を避けるよう調整が可能。多数のレーザーとAES 128ビットビデオ暗号化機能にも対応可能
- アメリカ製IRTAプログラム可能ロジックマトリックスチップを使用したFPGAテクノロジー
- 国際映画協会タイムコードプロトコルに反しないように設計。正確なタイムコード収集、送信、組み込まれたタイムコード送信方法を使用した暗号化機能。ハードウェア暗号タイムコードからIRTAチップまで。
- ソフトウェアはユーザーに送信出力を調整させる事ができ、妨害などを避けることができる。
- 別のチャンネルでTALLY情報を送信可能。様々なインターカムインターフェイスにも完全対応
- 統合したワイヤレスインターカムは300メートルまでマイクロフォンとスピーカーの使用を可能。外部のブルーテースオーディオデバイスも対応ができ、ワイヤレスマイクも使用できるように調整が可能。
- 専門のソフトウェアとテクニカルサポートもついてくる。団体、調整周波数、その団体にピッタリな出力と製品についてなど

製品	仕様
周波数範囲	5.1-5.9(GHz) *RF制御の違う地域によって異なる
	2.4-2.483GHz ISMバンド付き
モジュレーション方式とバンド幅	OFDM/40MHz (動画用)
	GFSK/1MHz for (インターカム用)
対応可能なビデオフォーマット	1080p 23.98/24/25/30/50/60 1080i 50/59.94/60 720p 50/59.94/60 576p 576i 480p 480i
対応可能なオーディオフォーマット	PCM, DTS-HD, Dolby TrueHD
タイムコード	SMPTE-12M
送信距離	3280フィート(だいたい1000メートル弱)
トランスミッター	
アンテナ	外部アンテナ 5G X2本
	外部アンテナ 2.4G X1本
送信パワー	18dBm
使用可能なインターフェイス	HDMIインプット;SDIインプット;SDIループアウトプット;ミニUSB;LEMOパワーイン;アンテナRPSMAソケット;パワーオン/オフ、3.5ミリHP/リスト(WRIST)用MICソケットTALLYアウトプット
マウント構造	1/4"ホットシューコネクション
OLEDディスプレイ	チャンネル情報;ビデオ状況;バッテリーキャパシティー;状況メニュー、オーディオ音声
パワー源	9-18ボルト、DCインプット用、F550/F970バッテリー
パワー消費量	7.5-8.5W

本体重量(アンテナ付き)	400g
大きさ	142.5×76×24.3mm
熱	-10-50° (起動中); -40-80° (放置中)
レシーバー	
アンテナ	外部アンテナ 5G X5本
	外部アンテナ 2.4G X1本
受信感度	-70dBm
使用可能なインターフェイス	SDIデュアルアウトプット;HDMIアウトプット;ミニUSB; LEMOパワーイン;アンテナRPSMAソケット;パワーオン/ オフ、3.5ミリHP/MICソケット;3.5ミリTALLYソケット; LEMO6ニードル
ロケート構造	
OLED ディスプレイ	チャンネル情報;信号の強さ;パワー情報; TALLYインジケータ
パワー源	9-18ボルト、DCインプット用;SONY Vマウントバッテリー
パワー消費量	7.5-8.5W
本体重量(アンテナ付き)	800g
大きさ	169.5×122×25.2mm
熱	-10-50° (起動中); -40-80° (放置中)

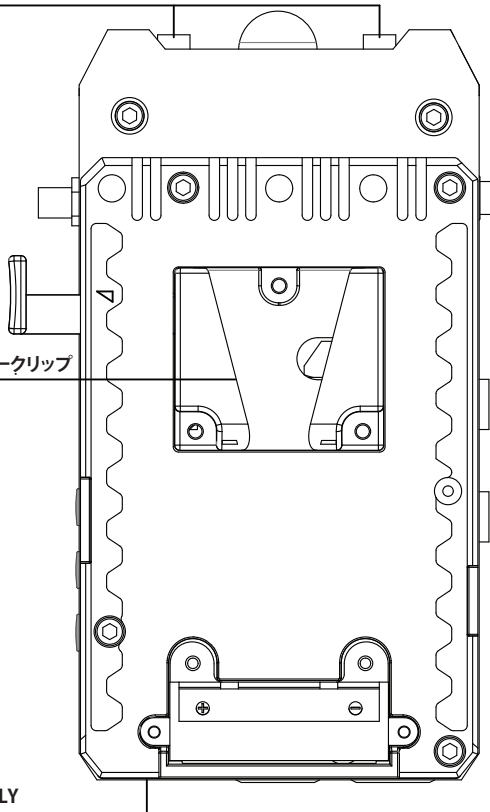
*製品はお客様に効率色使用していただく為に、ここに表示されているパフォーマンス、デザインと仕様が報告なしで多少変わる場合がございます。

トランスミッター

14 5Gアンテナ

15 バッテリークリップ

16 リアTALLY



1 フロントTALLY

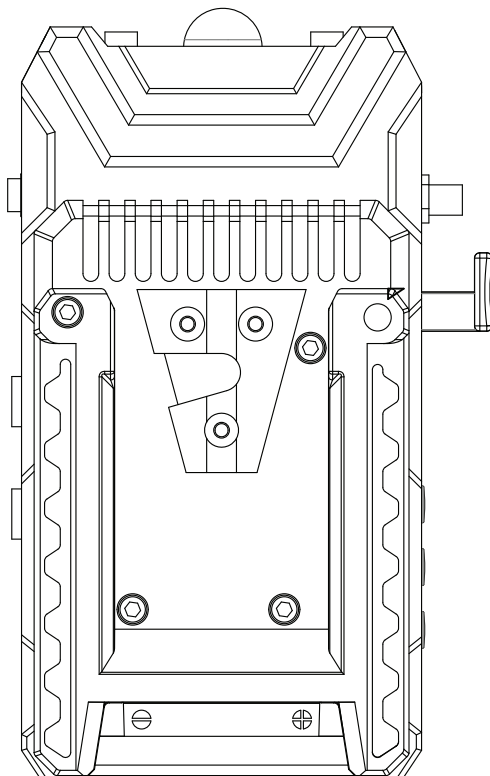
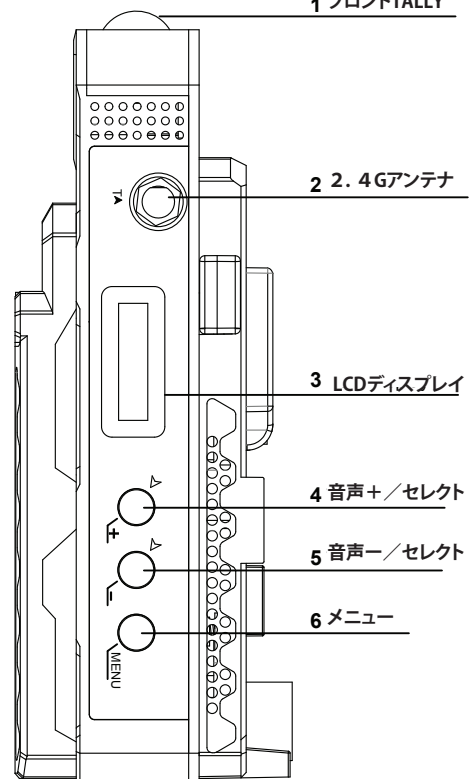
2 2.4Gアンテナ

3 LCDディスプレイ

4 音声+/セレクト

5 音声-/セレクト

6 メニュー



7 パワー
オン/オフ

8 外部用TALLYアウトプット

9 MIC/HP

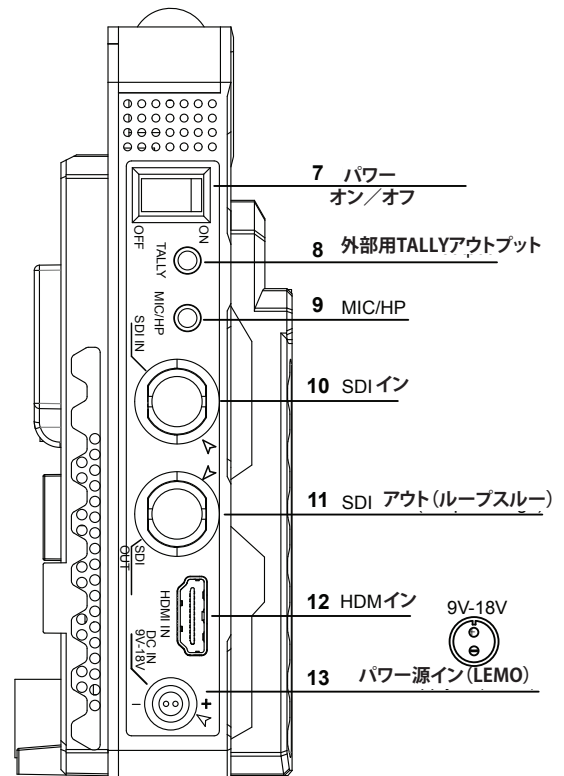
10 SDIイン

11 SDI アウト(ループスルー)

12 HDMイン

9V-18V

13 パワー源イン(LEMO)



構造	
1	1.5ミリフロントTALLYインジケータ (レッド/イエロー) インジケータカラーはリア、フロントと外部も同じ色 (レッドとイエロー)
2	2Gアンテナコネクタ コネクタ 2.4Gアンテナ用SMAコネクタ
3	OLEDディスプレイ チャンネル情報、ビデオ状況、信号の強さ、バッテリーボルテージインジケータ、メニュー情報を表示
4	音量+/上ボタン 音声上げ機能。メニューモードでは、上ボタンとして機能
5	音量-/下ボタン 音声下げ機能。メニューモードでは、下ボタンとして機能
6	メニューボタン メニュー選択。メニューモードでは決定ボタンとして使用
7	電源オン/オフ トランスミッターの電源オン、あるいはオフにする
8	3.5ミリ外部TALLYアウトプットインターフェイス3 最大出力20mAまで、LEDにも対応
9	3.5ミリMIC/HPインターフェイス 外部コンバーターボックスと接続
10	SDIイン ビデオ源と接続。3G-SDI、HD-SDI、SD-SDIにも対応
11	SDIアウト (ループスルー) 他のSDI機材と接続が可能
12	HDMI イン HDMIビデオ源と接続
13	DC パワーイン (Lemo) 9-18ボルトまで対応
14	5G アンテナコネクタ 5Gアンテナ用RPSMAコネクタ
15	バッテリークリップ バッテリー用コンパートメント、F550/F970バッテリー用
16	リアTALLY (レッド/イエロー) リア、フロントと外部TALLYのインジケータカラーは同じ (レッド/イエロー)

レシーバー

① 5Gアンテナ

② LCDディスプレイ

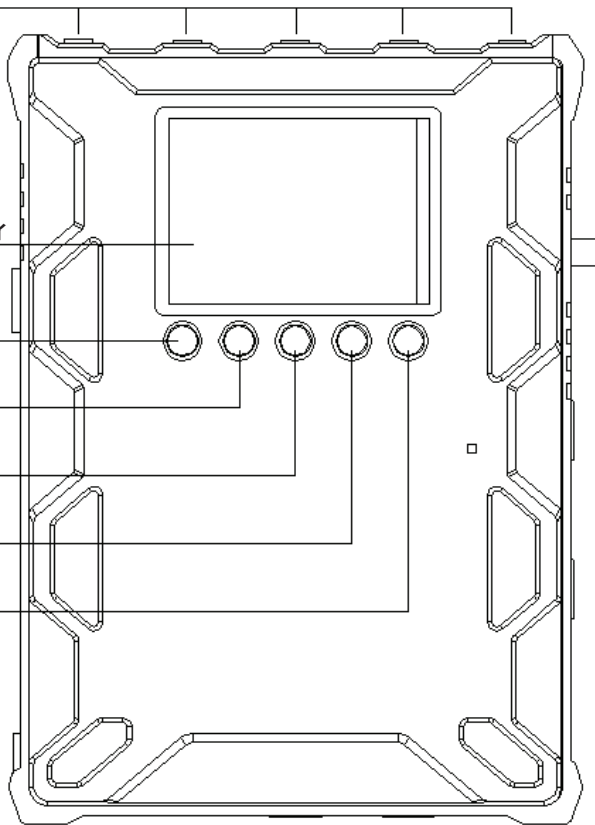
③ メニュー

④ 左/上

⑤ 右/下

⑥ 音声+/上

⑦ 音声-/下



⑧ バッテリーアウト

⑨ インターカム

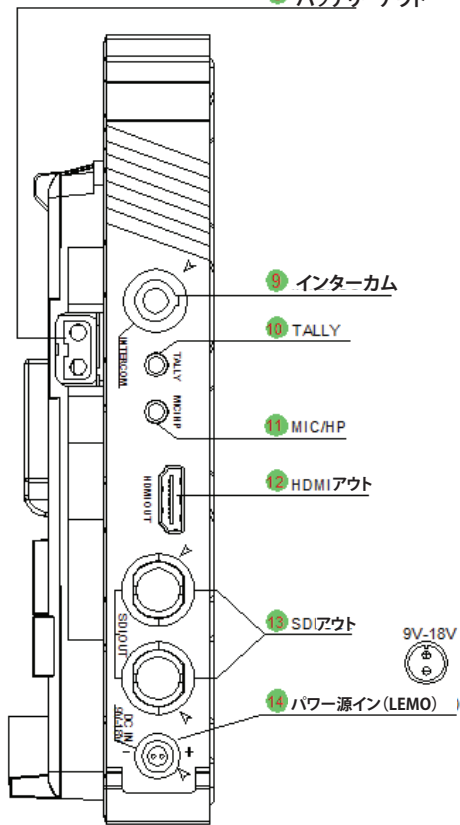
⑩ TALLY

⑪ MIC/HP

⑫ HDMIアウト

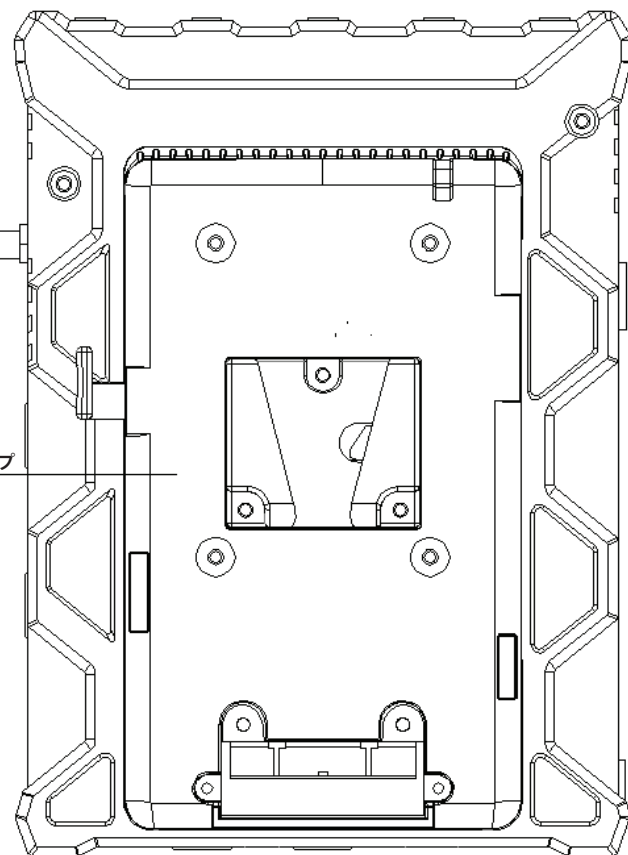
⑬ SDIアウト

⑭ パワー源イン (LEMO)

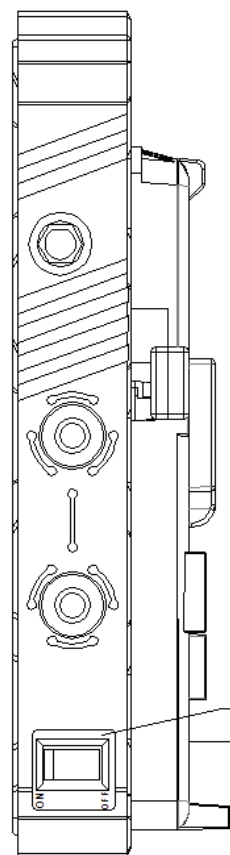


⑮ 2Gアンテナ

⑯ バッテリークリップ



⑰ パワーオン/オフ



構造	
1	5Gアンテナコネクタ アンテナ用RPSMAコネクタ
2	OLED ディスプレイ チャンネル、信号の強さ、バッテリーボルテージ、オーディオ音量とメニューを表示
3	メニューボタン 選択をアンロック、あるいは決定
4	左/上ボタン チャンネル選択
5	右/下ボタン チャンネル選択
6	音声+/上ボタン 音量+
7	音声-/下ボタン 音量-
8	バッテリーアウト バッテリーから外部のデバイスにDCパワーを補給することが可能
9	インターカム TALLYとインターカムシステム用6ピンLEMO
10	3.5ミリ外部TALLYアウトプットインターフェイス .最大出力20mA、LEDにも対応
11	3.5ミリ MIC/HP インターフェイス 外部ヘッドフォンと接続.
12	HDMI アウト ビデオアウトプット、HDMIレシーバーかデバイスと接続
13	SDI アウト ビデオアウトプット (ビデオアウトプットはSDIインターフェイスと同じ), SDIレシーバーかデバイスと接続.
14	DC パワーイン (LEMO) 9-18ボルトと対応.
15	2.4G アンテナコネクタ 2.4Gアンテナ用SMAコネクタ
16	バッテリークリップ V-Mount battery (default) battery plate.Vマウント型バッテリー (通常) バッテリープレート
17	Power ON/OFF パワーオン/オフ レシーバーの電源をオン/オフにする

取扱い説明

1. トランスミッターに2本のアンテナをつなげて、下の図の通りにちょっとアンゲルを加えることで結果が良くなります



2. トランスミッター側でもSDIとHDMIが両方使われている場合は、トランスミッターは自動的にSDIを選択します。
3. レシーバーに5本のアンテナをつなげて、下の図の通りにちょっとアンゲルを加えることで結果が良くなります。



4. レシーバーを高く設置することで送信距離の効果が上昇します

トランスミッター

- 3本のアンテナを固定する事(5Gを1本、2.4を2本).
- SDI、あるいはHDMIビデオ源をトランスミッターをSDIイン/HDMIインに接続すること (もし両方が使用されている場合、SDIが自動的に使用される)
- もし必要ならば、SDIアウト(ループ)を他の機材と接続可能
- トランスミッターにパワー源に接続、あるいはバッテリーをバッテリープレートに取り付ける
- トランスミッターの電源を入れる
- チャンネルをセットする(トランスミッターとリシーバレシーバーのチャンネルは必ず両方を同じにする)

レシーバー

- 6本のアンテナを固定する事(5Gを5本、2.4を1本)
- レシーバーのSDIアウトとHDMIアウトをモニターか、他のデバイスに接続する
- レシーバーにパワー源ケーブルを接続、あるいはVロックバッテリーをバッテリープレートに装着する.
- レシーバーに電源を入れる
- チャンネルをセットする(トランスミッターとレシーバーのチャンネルは必ず両方を同じにする。)
- 5秒か10秒後にビデオ送信はモニターに表示される

インカムの設定

- 電源を接続した後、トランスミッターとレシーバーの電源をつける
- トランスミッター側でTALKがコンバーターボックスで押されていない場合、レシーバーから音が鳴る
- コンバーターのTALKボタンを押せば、レシーバーとトランスミッターの会話モードが起動する
- トランスミッターのCALLボックスのCALLボタンを押す事でレシーバー側に音が流れる
- 配信切替機のTALLYが起動した時、レシーバーOLEDの部分が赤く光る。
同時にTALLYのLEDがトランスミッターで光る。(好みでリストインジケーターも搭載できる)
- 注意:外部TALLY(リストLED)インターフェイスは3.3V@20mAにしか対応できません

インカムシステムペアリング

- トランスミッター側(TX):メニューボタンを最初に押し、次に上、あるいは下ボタンを押し、TALK PAIRがスクリーンに表示したら、メニューボタンを押して決定する
- レシーバー側(RX):VOL-ボタンを最初に押し、右ボタンでインカムペアリングモードを起動する
- トランスミッター側(TX)が自動的に再起動するが、レシーバー側(RX)は手動で再起動する
- 両方が再起動した後、インカムシステムペアリングはインカム完了する

送信出力パワーの変更

- トランスミッターの+と-ボタンを連続で3秒間押す
- +と-ボタンでPWRを選択、メニューボタンで決定
- +と-ボタンで送信出力パワーの上昇、減少をする
- メニューボタンで決定

チャンネル設定


トランスミッターとリシーバー両方はデフォルトで同じチャンネルにて設定されています。もしチャンネルを変えたい場合、下の説明をお読みください。

注意:トランスミッターとレシーバーは両方同じチャンネルでなければ仕様はできません

チャンネル変更(トランスミッター)

- トランスミッターを起動する
- メニューボタンを押し、上、あるいは下ボタンを押し、「CHANNEL SET」が画面に表示がしたらそれを選ぶ
- 上、あるいは下ボタンでチャンネルを選び、メニューボタンを押して決定する
- トランスミッターのチャンネル設定は完了

チャンネル変更(レシーバー)

- レシーバーを起動する
- メニューボタンを押し、ディスプレイにアンロックアイコンが  映るまで押し続ける
- 左、あるいは右ボタンでチャンネルを選び、メニューボタンを押して決定する
- レシーバーのチャンネル設定は完了

冷却ファンを起動、停止

- トランスミッターの+、あるいは-ボタンを3秒間押す
- +、あるいは-ボタンで「FAN」を選択、メニューボタンで決定
- +、あるいは-ボタンでファンの起動、停止を設定
- メニューボタンで決定

取扱い説明

トラブルシューティング

もしもレシーバーが動画をうまく表示できない場合、下の表を見て対策法を確認してください

	問題	対策法
テレビからのOSD情報	WAITING FOR CONNECTIONがモニターに長い間表示されている	
	トランスミッターの電源が入っていない	トランスミッターの電源を入れる
	トランスミッターとレシーバーがちゃんと取り付けられていない	トランスミッターとレシーバーをしっかりと取り付ける
	トランスミッターとレシーバーの距離が離れすぎる	トランスミッターとレシーバーの距離を縮める
	TXとRXの間に厚い壁が複数ある	TXとRXの間になるべく障害物が少ない場所に使用する
	TXとRXの間に障害が沢山ある	レシーバーをトランスミッターに近づける
	ほかのトランスミッターが同じ、あるいは隣接のチャンネルを使っている	他のトランスミッターを停止する、あるいは他のチャンネルを使う
	ビデオ信号が届かない	
	トランスミッターとビデオ源が接続されていない	トランスミッターとビデオ源をSDI/HDMIケーブルで接続
	ビデオ源が停止している	ビデオ源を再起動する
	トランスミッターのケーブルが接続不可能	トランスミッターのケーブルを取り外し、また取り付ける
	トランスミッターが不正常に稼働する	トランスミッターを再起動する
	TXとビデオ源を繋げるケーブルに不具合	SDI/HDMIケーブルを取り替える
	プレイヤーが出力の画質に対応できない	出力のビデオの画質を他のモードに切り替える
TV/モニターがHDCP認証に対応できない	TV/モニターをHDCP認証に対応できるものと取り替える	

テレビからのOSD情報	信号インプットがレシーバーかTV/モニターに無い	
	レシーバーの電源が入っていない	レシーバーの電源を入れる
	レシーバーとTVが繋がっていない	レシーバーとTV・モニターをSDI/HDMIケーブルで接続する
	TV/モニターがSDI/HDMインプットに切り替えていない	TV/モニターがSDI/HDMインプットに切り替える
	TV/モニターとレシーバーを接続するケーブルの不具合	SDI/HDMIケーブルを外し、また取り付ける
	TV/モニターが/スタンバイモードになる	TV/モニターをオペレーションモードに切り替える
	レシーバーが不正常に稼働する	レシーバーを再起動する
	TV/モニター/に画像が表示されない	
	レシーバーかケーブルの不具合	レシーバーのケーブルをTV/モニターに再接続
	レシーバーが不正常に稼働する	レシーバーを再起動する
	レシーバーが故障する	購入した店に連絡、あるいは会社に
	異常な色がモニターに表示される	
	レシーバーのケーブル、あるいはTV/モニターの不具合	レシーバーのケーブル、あるいはTV/モニターのHDMIケーブルを取り外し、取り付ける
	トランスミッターのケーブル、あるいはビデオ源の不具合	トランスミッターのHDMIケーブル、あるいはプレイヤーのを取り外し、取り付ける
	トランスミッターかレシーバーが不正常に稼働する	トランスミッターとレシーバーを再起動する

免責条項

FCCステートメント

このデバイスはテストを行い、FCCルールパート15によるクラスBデジタルデバイスのリミット内に起動します。このリミットは市街地や住宅街の扱いの際、通信妨害や普段の日常の妨害を防ぐ為に考えられた物です。このデバイスは周波数を生成、使用、そして放射しますが、もし説明上では無い扱いをすれば、ラジオ放送に危険な妨害を与えることがあります。ですが、説明上の扱いをしても危険な妨害を与えないという保証はありません。もしこのデバイスによって危険な妨害がラジオやテレビ放送で見られる場合は、(主にデバイスを付けたり消したりすることで確認できる)ユーザーは妨害を下のとおりに解決する事をおすすめします。

- 再設定、あるいは違う場所での利用
- 妨害を受けている機材をレシーバーの距離を離れさせる
- 機材をレシーバーと別の電線に接続する
- 店で問い合わせる、あるいはTV/ラジオ技師と問い合わせる

なお、マニュアル上以外の行動、改造や変更を行う事でユーザーの機材を使う権利を無くす可能性があります。(なるべく、特別製のインターフェイスケーブルを使用し、コンピューター、あるいは別の装置につなげてください)

FCC放射能露出ステートメント

この機材は制御できない環境で使用の際、FCC RF露出条件を満たしています。

このトランスミッターは他社のアンテナやトランスミッターと同時に使用、あるいは連結しての使用は避けてください。

この機材はFCCルールパート15ルールの条件を満たしております。このデバイスの使用の際、下にある2つの条件を守り、使用してください。

- 1・デバイスは周りに危害を加える通信妨害が目的で使用しない事
- 2・デバイスはたとえ不正常に起動しても、通信妨害を受け入れるようにセットしておく事。

注意

製造会社は無茶な改造によって発生するラジオやテレビの通信妨害の責任を負うことはできません。そのような改造はユーザーの使用権利を無くすことがあります。

免責条項

■ 規約と条件

我が社CINEGEARSの新商品のお買い上げ、おめでとうございます。商品を使用する前に、このマニュアルをよくお読みください。この商品を使用することは、あなたはこのマニュアルを読み、条件や注意点を理解したという事になります。我が社の商品を使用する事で、もしもの時責任はあなたが背負う事になります。あなたはこの商品を規則正しく、マニュアル上のポリシーやガイドラインを守り使用することを理解したという事になります。

この免責条項を読む事で、あなたは以下の条件を認めます:

- 1.この免責条項のいずれかのセクションが報告無しで変更されることがあります 詳しくはCINEGEARS.COMで最新版をお読みください
- 2.CINEGEARSはこの免責条項に最終的な解釈を行うことは認められております

CINEGEARSとフォローフォーカスキットはリトルセント国際商社にトレードマークが登録されており、このマニュアルに登場する商品名、ブランドなどはその会社が登録した、あるいは登録寸前のトレードマークです。この商品とマニュアルはCINEGEARSの著作権によって登録されたものです。CINEGEARSに許可なしでこのマニュアルや商品の大量生産や配信はしないようお願い申し上げます。

CINEGEARSについて

CINEGEARS INCはデジタルワイヤレスフォローフォーカスシステム、レンズコントロールシステム、カメラモーションコントロールシステムや撮影、配信の際に必要なアクセサリや装置を開発する会社です。私たちの会社は、想像力やアイデアの力を強く信じているため、ペガサスケーブルカメラ ワイヤレス送信機を内蔵されたワイヤレスモータードライブ、そして ワイヤレスフィンガーホイールコントローラーなど素晴らしい商品を生み出しております。CINEGEARS INC製ワイヤレスレンズコントロールシステムは 国際CE認証がすべての機材に与えられております。我が社のレンズ コントロールシステムの特徴点は、一流レベルのフォーカスプル、それと正確なコントロール性です。このようなテクノロジーは、我が社のペガサスをよりスムーズに、正確にコントロールするために使われております。

わたし達はBC州のバンクーバーで7年間営業し、私達の機材はおよそ百の映画 作品に使用されています。どんな映画製作者でも、我が社のシンプルで プロレベルで、幅広い使用を可能にするフォローフォーカスキットを使えば、成功間違いなしです!我が社のシングル軸とマルチ軸モデルは簡単に使用 が可能の上、余計な人材とワイヤーは必要ありません。少数な予算でも、プロ並みの映画を撮影、製作、そして配信を可能です。カメラオペレーター、アシスタントカメラオペレーター、そしてジブオペレーターも我が社の ワイヤレスフォローフォーカスを使うことで決定的な瞬間を収めることが可能です。

お客様サポート



もし使用中、商品に何らかの不具合がありましたら、ご連絡ください。
商品を購入した小売店には連絡しないでください

CINE GEARS INC. (USA)
47 East South Street, Suite 401
Frederick, Maryland 21701, USA
Tel: 1 206 462 2858
Toll Free: 1 800 693 8883

CINE GEARS INC. (Canada)
2nd floor 2010-9111 Beckwith Road
Richmond, BC V6X 1V7, Canada
Tel: 1 604 243 9995